

令和7年度 事業報告

令和7年度においては、発酵乳・乳酸菌飲料の表示の一層の適正化を図るため、①公正競争規約の整備 ②規約の普及・定着 ③規約の遵守状況の調査 ④相談業務及び指導業務の強化を重点課題として以下の事業に取り組んだ。

1. 公正競争規約の整備

(1) 公正競争規約及び同施行規則の改正

令和7年度に予定した公正競争規約・同施行規則の改正は、消費者庁からステルスマーケティングの禁止条項を入れることとの指導があったことから、これを踏まえた改正作業を進めた。

(2) 公正競争規約の解説

改正予定の公正競争規約・同施行規則、本年4月より施行される食品表示基準の改正等に対応した規約解説冊子「発酵乳・乳酸菌飲料の表示」の改訂作業を進めた。

2. 公正競争規約の普及・定着

(1) 食品表示セミナー

食品表示基準や景品表示法への理解を深め、表示の適正化を図ることを目的とした消費者庁担当官による行政セミナーを令和7年8月6日に開催し、最新の動向を紹介した。

ア. 開催方法 Zoomを使用したウェブセミナー

イ. 参加者数 195名（非会員28名含む）

ウ. 演題・講師

①「令和6年度食品表示基準改正と今後の動向について」

食品表示課 坊 英哲 食品表示調査官

食品表示課 日吉 統子 栄養成分表示係長

②「健康食品に関する景品表示法及び健康増進法上の留意事項について」

表示対策課 川島 昌和 景品・表示調査官

(2) 表示勉強会

会員の表示実務担当者や表示の知識が求められる営業・マーケティング担当者を対象とし、公正競争規約及び関連法の理解の向上を図ることを目的とした「表示勉強会」を開催した。

ア. プログラム

講義：①「乳酸菌・乳酸菌飲料の表示の現状」

②「トピック事項の紹介」

理解度テスト：表示の基礎を理解してもらうための確認テスト

演習：① 市販品の表示検査

② 容器包装の表示作成

イ. 開催日・場所

1 1月28日 北農ビル会議室（札幌）

1 2月4日・5日 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター（東京）

1 2月12日 オリエンタルホテル福岡（福岡）

1 2月17日 TKP新大阪ビジネスセンター（大阪）

ウ. 参加者数 札幌会場5名、東京会場46名、福岡会場10名、
大阪会場12名 計73名

※ 前年度参加者数 4会場・計74名

3. 表示の適正化

市販されている発酵乳・乳酸菌飲料の表示の適正化を図ることを目的とした「試買検査会」を令和7年11月5日、ホテルグランドヒル市ヶ谷にて開催した。

なお、検査員として、大妻女子大学の学生8名と表示検討部会委員9名が参加した。

(1) 検査サンプル

全国の店舗から購入した市販品243品を収集。このうち既に検査済みの商品及び適正表示商品の一部を除いた発酵乳57品（うち非会員品23品）、乳酸菌飲料18品（うち非会員品4品）、計75品を検査サンプルとした。

(2) 検査・調査の結果（別添資料参照）

ア. 規約への適合検査

規約に定める表示事項23項目について検査した結果、26品（うち非会員品16品）において不適合表示が報告された。

[以下に報告された不適合表示の一部を挙げる]

- ・商品名の表示と同一視野に「種類別」の表示がないもの
- ・一括表示欄に義務表示事項以外の項目を表示しているもの
- ・商品説明文での原材料の名称と一括表示欄での原材料の名称が異なるもの
- ・期限表示の表示場所に「賞味期限」の項目名を表示していないもの
- ・生乳使用を強調しているのに生乳の使用割合の表示がないもの
- ・食品添加物の不使用表示が、「食品添加物の不使用表示に関するガイドライン」の類型8（食品添加物の使用が予期されていない食品への表示）に該当するもの
- ・「新鮮」「搾りたて」などの禁止語句を使用したもの

イ. その他検査員による指摘事項、感想

○好感が持てる表示

- ・パウチ容器の裏面は面積が広く、多くの表示を一つの面で読めるので見やすい
- ・内容成分や中身に何が入っているのか分かりやすい表示は、商品を選びやすい
- ・脂肪0表示の説明があるのは好ましい

○不親切な表示

- ・小容量の容器での小さな文字は、年配者では読めないのではないか
- ・背景色と同系色の文字、アルミ地や光沢面での文字は見づらい

(3) 規約不適合表示商品への対応

不適合表示が報告された商品の製造者に対して、電話で内容を伝え、また、文書にて改善を勧めた。

4. 相談・指導事業

日常的に寄せられる、会員、非会員、その他の食品関係事業者、マスコミ、行政等からの表示に関する質問・相談に回答した。

問い合わせ件数は、154件であった。

※ 前年度 133件（前年比 116%）

5. 消費者庁・食品表示関係団体との連携

(1) 消費者庁との連携

ア. 行政情報の収集、会員への迅速な提供に努めた。

イ. 消費者庁表示対策課長の年頭所感、また食品表示課長による解説文『食品期限表示の設定のためのガイドライン』見直しについて」を「乳酸菌ニュース」秋季号に掲載した。

ウ. 旧食品衛生法に由来する個別品目ごとの表示ルールの見直しについて、種類別等の表示を維持するよう求める意見書を消費者庁食品表示課に提出した。また、「令和7年度食品表示懇談会」に設置された「個別品目ごとの表示ルール見直し分科会」に業界団体として出席し、意見提出を行った。

(2) 食品表示関係団体との連携

(一社)全国公正取引協議会連合会が主催する行政説明会、意見交換会等に参加し、情報収集を行った。

6. 新会員の勧誘

非会員に対して食品表示セミナーの参加を呼び掛けるとともに、表示に関する相談や試買検査会で改善を求めた機会等をとらえて当協議会への加入を勧めた。

なお、令和7年度においては、榛名酪農業協同組合連合会、クロレラ食品ハック(株)が入会し、(株)弘乳社が退会した。これにより、令和7年度末現在の会員数は67社となった。

以上

別添資料

「試買検査会」結果報告

1. 検査項目

- | | |
|-----------|---|
| ① 必要な表示事項 | 種類別、無脂乳固形分等、原材料名、添加物、原料原産地名、内容量、賞味期限、保存方法、製造者（販売者）の名称・所在地、栄養成分表示、表示順序 |
| ② 特定事項の表示 | 無果汁、原産国、特定名称、菌数、生乳使用 |
| ③ その他の表示 | 栄養成分の強調表示、発酵温度、特色のある原材料、アレルギー、容器包装識別表示 |
| ④ 不当表示 | 優良誤認、有利誤認 |

2. 検査サンプル

全国の店舗から購入した市販品243品を収集。このうち既に検査済みの商品及び適正表示商品の一部を除いた発酵乳57品（うち非会員品23品）、乳酸菌飲料18品（うち非会員品4品）、計75品を検査サンプルとした。

3. 検査結果

検査サンプル75品中、26品（うち非会員16品）に、以下の改善が求められる表示があった。

① 一括表示

- ・商品名の表示と同一視野に「種類別」の表示がないもの
- ・一括表示欄に義務表示事項以外の項目（品名、乳固形分、製造所所在地）を表示しているもの
- ・乳の原料原産地名を産地表示にしているもの
- ・商品説明では「牛乳で作った」の表示があるが、原材料名では「生乳」と表示しているもの
- ・商品説明では「北海道産てんさい糖使用」の表示があるが、原材料名では「ビートグラニュー糖」と表示しているもの
- ・期限表示の表示場所に「賞味期限」の項目名を表示していないもの
- ・一括表示内の項目では「賞味期限」と表示しているが、表示場所には「消費期限」と表示しているもの
- ・マルチパック品の内容量表示において、総量表示をしていないもの
- ・表示面積があるにもかかわらず文字の大きさが8ポイント活字以下のもの

② 栄養成分表示（強調表示を含む）

- ・商品説明に「ホエイにタンパク質、ミネラル、ビタミンを含んでいます」との栄養強調表示があるが、栄養成分表示に該当する栄養成分を表示していないもの

③ 特定事項の表示、不当表示、その他の表示

- ・生乳を使用している表示があるが、生乳使用割合の表示がないもの
- ・原材料に砂糖を使用しているのに、「生乳 100%」と表示しているもの
- ・食品添加物の不使用表示に関するガイドラインの類型 8「食品添加物の使用が予期されていない食品への表示」に該当すると考えられる保存料の不使用を表示したもの
- ・プラスチック容器の識別表示（リサイクルマーク）が間違っているもの
- ・「新鮮」「搾りたて」などの禁止語句を使用したもの

などが認められた。

4. 検査員からの指摘、感想

① 好感が持てる表示

- ・パウチ容器の裏面は面積が広く、多くの表示を一つの面で読めるので見やすい。
- ・内容成分や中身に何が入っているか分かりやすい表示は商品を選びやすい。
- ・脂肪 0 表示の説明があるのは好ましい。
- ・物語風の目を引くデザインと商品名から中身を想起しやすいものは、目立つし好感が持てる。

② 不親切な表示

- ・小容量の容器での小さな文字は年配者では読めないのではないか。
- ・義務表示事項など多くの表示がある特保や機能性表示食品は理解が難しい。
- ・背景色と同系色の文字、アルミ地や光沢面での文字は見づらい。
- ・蓋材の末端がカップ側面に被さり文字が隠れているものがある。
- ・味や性状などを表わすグラフが表示され、自社製品比較としているが、どんな商品と比べているか不明である。

以 上